

港区立青山小学校
令和6年度 4年生授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	① 漢字の読み書き及び活用ができる。 ② 文章(特に説明文)の読み取りができる。 ③ 文章を書くことができる。	① 漢字を正しく読み書きし、文や文章の中で使うことが難しい児童がいる。 ② 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることが難しい児童がいる。 ③ 自分の考えとそれを支える理由や事実との関係を明確にして、書き表し方を工夫することが難しい児童がいる。	① 新出漢字を学習する際は、書き順とともに熟語や例文をセットで覚えるように指導する。また、定期的に漢字テストを実施し、定着率を確認する。 ② 授業時間内で文章の要点を見つけるための工夫を指導する。朝の時間などを活用し、短い文章から要点を見付ける練習をする。 ③ 書く内容を箇条書きで書き出し、その後整理し、文章構成を考える流れを定着させる。文章を書くときに必要な語彙などを教室に掲示し、いつでも見返すことができるように教室環境を整備する。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	① 資料を正しく読み取る。 ② 社会に見られる課題に対して、自分の考えを表現する。	① 地図帳や各種の具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けることが難しい児童がいる。 ② 社会に見られる課題を把握し、解決に向けて社会への関わり方を選択・判断し、考えたことや選択・判断したことを表現したりすることが難しい児童がいる。	① 資料の読み取りを丁寧に扱い、見方を全体で確認する。 ② 資料の見方を全体で確認した後、資料を基に自分が考えたこと(考えられること)を短い言葉でもノートや発言で表現させることを繰り返す。

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	① 「B 領域の図形」に関する能力を向上させる。	① ベーシックドリルにおける正答率が52%であった。1学期のワークテストの結果では、「角の大きさ」の到達度が78であった。他の単元は80を超えるものが多い。	① 図形をイメージ的に捉えることができるようになるために、一人一人が具体物の操作を十分に確保するようにする。また、学習支援システムを活用し、画面上で動く図形のページを活用する等、視覚的に理解が深まるようにする。

理科	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 根拠のある予想や仮説をたてる。 ② 観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	① 既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想すること難しい児童がいる。 ② 観察、実験などに関する基本的な技能の定着が難しい児童がいる。	① 授業のはじめに学習内容に関する既習事項を確認する。また、生活経験の中から学習内容と関連することはないか想起させ、予想や仮説をたてる際に活用できるよう声掛けを行う。 ② 観察、実験の手順やポイントを黒板に掲示し、毎時間確認することで定着を図る。

体育	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 動作のポイントを理解し、走ったり投げたりすること。 ② チームで話し合い、ゲームの作戦を立てたり練習を工夫したりすること。	① 走り方や投げ方など基本的な動作ができていない児童が多い。 ② 動きを見合って、伝え合う活動では、受け身になる児童が多い。	① 学習の最初に動きのポイントを確認し、実際に動いたり、動画やイラストを見て確認したりする時間を設定する。また、児童の能力に応じた練習方法や場を提示する。 ② 友達と協働して練習したり、お互いの動きの良いところを共有したりする場面を設定する。その際、互いの動きを見るポイントを予め確認しておく。

国際	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 自信をもって発音したり、積極的にコミュニケーションをしたること。	① 日常生活に関する簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなど、簡単な語句や基本的な表現を用いてすすんで伝え合うことが難しい児童がいる。	① 発話練習のときには、個人・ペア・全体と形態を変えながら繰り返し練習する機会を作る。コミュニケーション活動では、日常生活における必然性のある状況を設定する。ゲームを行うときは勝敗にこだわらないように声掛けを行う。

道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 学習内容を自分事として捉えること。	① 日常生活で同じようなことはないか考え、自分が主人公だったらどうするかなどと考えたりすることが難しい児童がいる。	① 教材文の場面に入り込めるように、導入の仕方を工夫する。道徳的価値について「自分だったらどうするか」という視点に立って考えられるよう、発問の内容や数を精選する。友達と考えを交流する活動を取り入れる。

特別活動	育成を目指す資質・能力	学級活動、学校行事等の課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 児童が主体的に話し合う活動を行い、互いの意見を伝え合いながら、所属する集団の諸問題を児童の力で解決できるようにすること。	① 話し合いの中で他者の意見を受け入れられず、折り合いをつけることができない。	① 日常生活から「相手の意見を受け止めること」を徹底する。話し合い活動を行う時は、ペア活動から始め、徐々に学級全体へと発展させられるような展開にしていく。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 情報の収集、整理・分析・表現	① 集めた情報を意図や目的に合わせて整理・分析することが難しい。	① 疑問点や課題、どのような発表をしたいのか振り返り、それにあつた情報を集められるように声掛けを行う。また、思考ツールを活用し、整理・分析したりできるようにする。